

2022年2月16日

各位

三井住友信託銀行株式会社

本邦初のプロジェクトファイナンスへのソーシャルローン評価取得について

(株式会社みずむすびマネジメントみやぎ)

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「当社」)は、株式会社みずむすびマネジメントみやぎ(代表取締役社長:酒井 雅史、以下「みずむすびマネジメントみやぎ」)に対し、シンジケーション方式のプロジェクトファイナンス(以下「本件」)を組成いたしました。

また本件組成にあたり、株式会社日本格付研究所(代表取締役社長:高木 祥吉)より、ローン・マーケット・アソシエーション(以下「LMA」(※1))等が定めた「ソーシャルローン原則」に則した「ソーシャルローン」評価を取得しております(※2)。尚、プロジェクトファイナンスへのソーシャルローン評価取得は本邦初となります。

ソーシャルローンは、国内外のソーシャルプロジェクトに要する資金を調達する際に用いられる融資であり、資金使途がソーシャルプロジェクトへの充実に限定されるほか、資金の追跡管理や融資実行後のレポートングを通じ、透明性が確保される等の特徴を有しております。

<本件の概要>

契約締結日	2022年2月16日
アレンジャー エージェント	当社
コ・アレンジャー	株式会社七十七銀行
貸付人(五十音順)	株式会社七十七銀行、株式会社仙台銀行、第一生命保険株式会社、当社
組成金額	89億円
資金使途	宮城県上工下水一体官民連携運営事業におけるプロジェクトコストの支払

みずむすびマネジメントみやぎは宮城県上工下水一体官民連携運営事業(以下「本事業」)に関連した特別目的会社として設立され、株主企業はメタウォーター株式会社、ヴェオリア・ジェネッツ株式会社、オリックス株式会社、株式会社日立製作所、株式会社日水コン、株式会社橋本店、株式会社復建技術コンサルタント、産電工業株式会社、東急建設株式会社、メタウォーターサービス株式会社の10社で構成されています。

本事業は宮城県が保有する水道用水供給事業、工業用水道事業および流域下水道事業の施設運営を20年間にわたり、民間事業者が担うものです。みずむすびマネジメントみやぎは、2021年12月6日に宮城県と実施契約を締結済みであり、2022年4月の事業開始を予定しています。

みずむすびマネジメントみやぎは、宮城県との公民連携のもと、国内の水・インフラ事業において多くの実績を有する企業と、宮城県の水事業に精通した地元企業という“水のプロフェッショナル企業”が結集し、ノウハウと人材を駆使して事業を運営します(※3)。

当社では、ソーシャルローンを含むサステナブルファイナンスのみならず、SDGsの目標達成に資するお客さまの様々な事業活動を支援するとともに、お客さまの中長期的な企業価値の向上に貢献することを引き続き目指してまいります。

以上

(※1) LMA は欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会であり、60 ヶ国以上に属する 700 以上の機関が加盟しています。

(※2) 株式会社日本格付研究所のウェブサイトをご参照ください。

<https://www.jcr.co.jp/>

(※3) みずむすびマネジメントみやぎのウェブサイトをご参照ください。

<https://www.mizumusubi.com/>